

● 須崎市「海のまちプロジェクト」第2期が始動！
地域のチカラを集め、唯一無二の観光づくりへ

各 位

令和8年7月14日

高知信用金庫(理事長・山崎 久留美)は、創業の地である須崎市(市長・楠瀬 耕作)と連携し、令和3年度から5年間取り組んできた須崎市「海のまちプロジェクト」について、市からの継続要請を受け、高知信用金庫創業100周年記念事業として向こう3年間継続することとし、第2期プロジェクトをスタートいたします。

令和8年7月3日(金)、須崎市海のまちホールにおいて、「海のまちプロジェクト第11回全体会」を開催し、須崎市楠瀬耕作市長、当金庫理事長・山崎久留美をはじめ、協議会関係者、行政、事業者の方々、メディア関係者など約130名が出席しました。

当日は、第1期の総括とともに、第2期の基本方針および新たな取り組みを発表しました。また、特別ゲストとして、吉本興業ホールディングス 元代表取締役会長 大崎 洋氏をお迎えし、「海のまちプロジェクトに寄せる想い」をテーマに特別講演をいただき、地方が持つ文化や人の魅力を磨き上げ、全国・世界へ発信していくことの重要性や、歴史文化・スポーツなど多くのコンテンツを有する須崎は、訪れる方々の学びの場となる可能性についてご講演いただきました。



第1期プロジェクトの成果

須崎市「海のまちプロジェクト」は、『まち全体を一つの観光施設として磨き上げる』という考え方のもと、須崎駅周辺を中心に、産官学金が連携しながら地域資源を磨き、新たな交流と賑わいを創出してきました。これまでに、

- JR 海のまち須崎駅を核とした駅周辺のリノベーション
- 須崎大漁堂、須崎のサカナ本舗など食の拠点整備
- 須崎縁日商店街の活性化とイベント開催
- サカナ文化祭やロイロイベントなど年間を通じた交流事業
- 地域の歴史や文化を活かした映像・デザインコンテンツの制作
- 地域内外のクリエイターや企業との共創

など、多様なプロジェクトを展開し、須崎市の新たな魅力発信と交流人口の拡大に取り組んできました。

また、海のまちムービーの制作や SNS・映像を活用した情報発信により、須崎の釣りの魅力を全国へ届ける取り組みも進めています。

第2期テーマ

「海のまちの宝を、須崎だけの物語につむぎ育む」

第2期では、単なるイベントや施設整備ではなく、須崎にしか存在しない歴史、文化、食、人、風景、暮らしを「物語」として編集し、その価値を育てながら未来へつないでいくことを基本理念とします。地域に眠る宝を磨き上げ、それぞれを点ではなく物語としてつなぎ合わせることで、訪れる理由を生み、何度も訪れたいくなるまちを目指します。

第2期の主な取り組み

第2期では、『地域のチカラを集め、唯一無二の観光化をめざす』を基本方針とし、次の取り組みを推進します。

- 須崎縁日商店街を核とした商店街活性化
- 須崎サカナ文化祭のさらなるブランド化
- 「高知美食学 TV」「須崎 DE SHOW」など映像コンテンツの充実
- 「ドットチャンネル」によるテレビ・SNS・YouTube を連動させた地域情報発信

- 「須崎釣りバカ ザ・ムービー」など地域 IP を活用した観光プロモーション
- 海・港・魚・食・歴史・アート・文化をつなぐストーリーづくり
- 地域住民・事業者が主体となる共創プロジェクトの展開
- 若い世代が活躍できる新たなチャレンジの創出

これらを通じて、「須崎だから体験できる価値」を積み重ね、地域ブランドの向上と交流人口・関係人口の拡大を図ります。

高知信用金庫の想い

高知信用金庫は創業以来、地域とともに歩み、地域の未来をともにつくることを社会的使命として日々研鑽を積んでまいりました。

須崎市「海のまちプロジェクト」第2期では、行政や地域事業者だけでなく、市民一人ひとりが主役となり、それぞれが持つ力を持ち寄りながら、須崎だけの物語を未来へ紡いでいく地域づくりに取り組んでまいります。

高知信用金庫は、これからも地域活性化機関として、地域に伴走し、地域の未来を創造する挑戦を続けてまいります。

以 上